

平成30年度 決算



水道事業会計には、収益的収入および支出と資本的収入および支出の2つがあり、どちらも税込み表示としていますが、収益的収支における純利益には消費税及び地方消費税は含みません。また、()内の数値は前年度決算対比での増減率を表しています。

収益的収入および支出

水道水をつくり、家庭に届けるために必要な経費とその財源です。

その他収入 6,404万円(16%減)	純利益(税抜き) 2億2,928万円(348%増)
長期前受金戻入 3億469万円(10%減)	減価償却費等 9億7,959万円(19%減)
加入負担金 1億5,550万円(27%減)	
下水道受託収益 9,834万円(増減なし)	その他費用 5億3,112万円(増減なし)
水道料金 24億4,785万円 (2%減)	支払利息 1億2,185万円(8%減)
	送水費 7,736万円(11%減)
	受水費 7億4,263万円(4%増)
	浄水費 3億5,840万円(9%減)
収益的収入 30億7,042万円(5%増)	収益的支出 28億1,095万円(9%減)

資本的収入および支出

水道施設の新設、改良をするために必要な経費とその財源です。

留保資金等 補てん財源	収支不足額 6億1,485万円 (68%減)
固定資産売却代金 165万円(88%減)	出資金 2,991万円(30%減)
工事負担金 1,874万円(2%減)	企業債 2億8,000万円 (7%減)
固定資産売却代金 165万円(88%減)	企業債償還元金 4億5,563万円 (2%増)
出資金 2,991万円(30%減)	五ヶ山ダム建設事業費 159万円(94%減)
工事負担金 1,874万円(2%減)	配水施設整備費 1億7,905万円(39%減)
企業債 2億8,000万円(7%減)	水源・浄水場 施設整備費 2億6,356万円(82%減)
資本的収入 3億3,030万円(12%減)	資本的支出 9億4,515万円(59%減)

平成30年度は、公営企業における独立採算の基本原則に従い、企業努力に徹した結果、収益については、30億7,042万円の事業収益を得ることができました。また、支出については、常に経済効果を発揮し、極力経費節減に徹しました。その結果、28億1,095万円となり2億2,928万円の純利益(税抜き)を生じました。

資本的収入額3億3,030万円が資本的支出額9億4,515万円に不足する額6億1,485万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,945万円及び過年度分損益勘定留保資金5億8,540万円で補てんしました。引き続き経費節減等に努めて参ります。

業務状況

項目	平成30年度	平成29年度	増減
給水人口(人)	152,982	152,810	172
年間総配水量(m ³)	13,251,688	13,479,031	-227,343
年間有収水量(m ³)	12,389,053	12,549,234	-160,181

主な事業

- ・恒久水源開発事業
- ・配水地施設整備事業(老朽管更新等)
- ・春日貯水池耐震補強工事
- ・井尻第2取水場アンモニウムイオン測定装置設置事業

※その他詳細については企業団ホームページや窓口で公開しています。

問い合わせ先 総務課 TEL 571-7001 / FAX 574-4960